

## 神津島の火山活動解説資料（平成 30 年 2 月）

気象庁地震火山部  
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

### 活動概況

- ・噴気など表面現象の状況（図 2）

前浜南東監視カメラ（天上山の南西約 3 km）による観測では、天上山山頂部に噴気は認められません。

- ・地震や微動の発生状況（図 3 - 、図 4）

神津島付近を震源とする火山性地震、火山性微動は観測されていません。

- ・地殻変動の状況（図 1、図 3 - ~ ）

GNSS<sup>1)</sup>連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

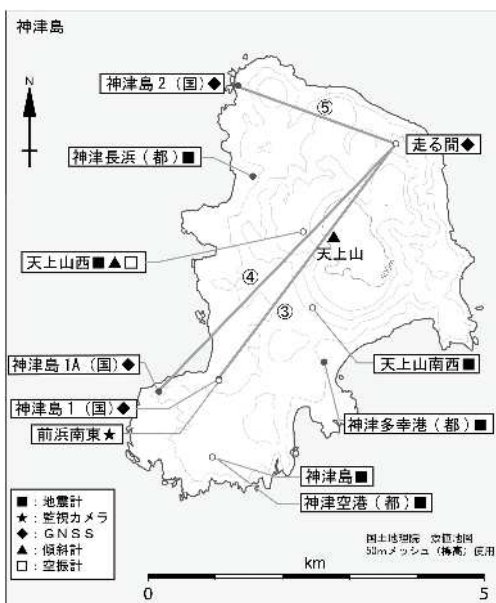


図 1 神津島 観測点配置図

GNSS 基線 ~ は図 3 の ~ に対応しています。  
神津島 1 から神津島 1A に 2014 年 9 月 19 日移設。



図 2 神津島 天上山山頂部の状況

（2 月 4 日、前浜南東監視カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（[http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)）でも閲覧することができます。

次回の火山活動解説資料（平成 30 年 3 月分）は平成 30 年 4 月 9 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、東京都及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）。

【計数基準の変遷】  
 A型地震：2010年10月1日(観測開始)～ 天上山西から半径5km、深さ15km以内  
 BH型地震：2010年8月2日～2013年9月30日 天上山西振幅0.8 $\mu$ m/s以上  
 2013年10月1日～ 天上山西振幅4.0 $\mu$ m/s以上

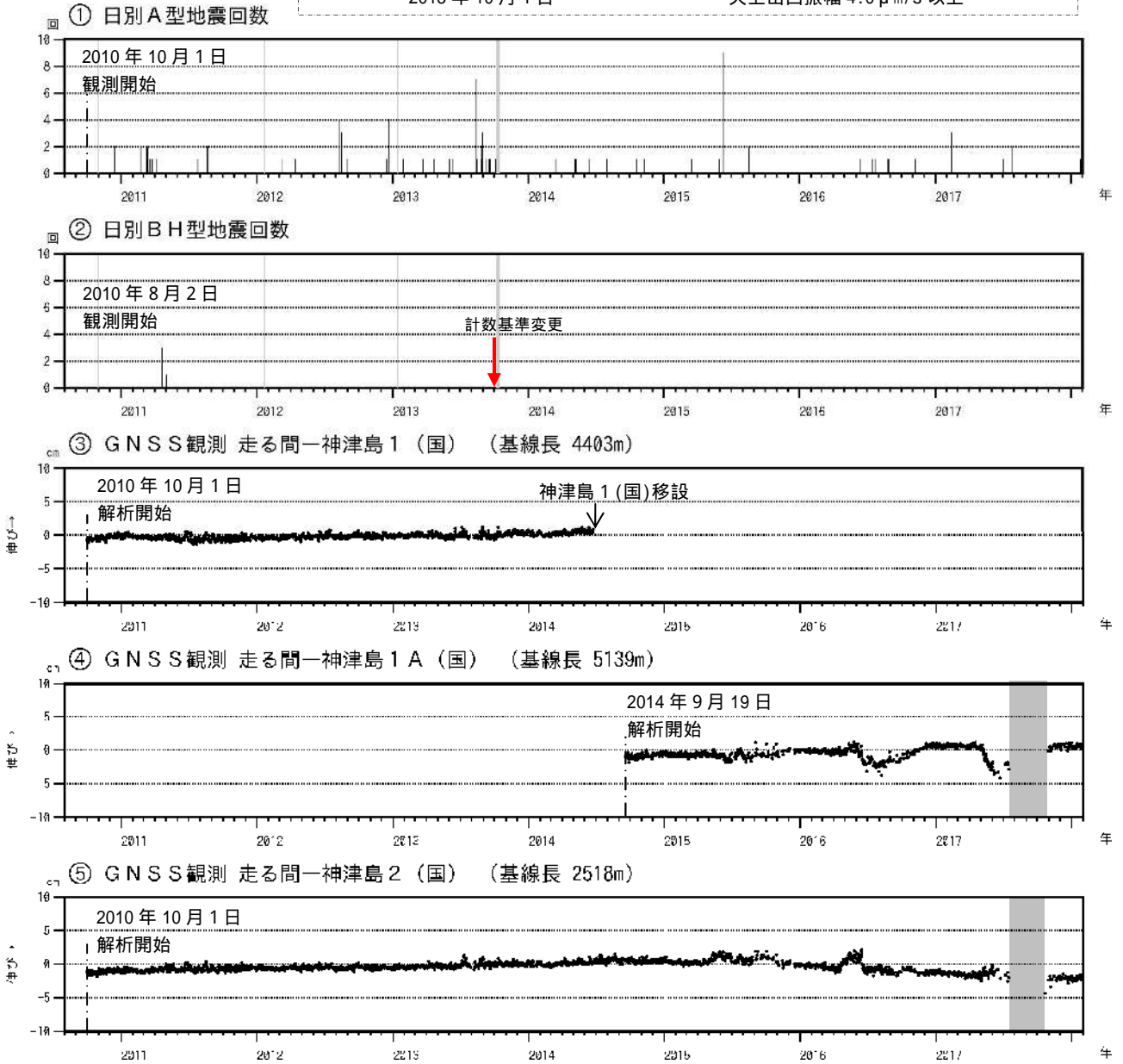


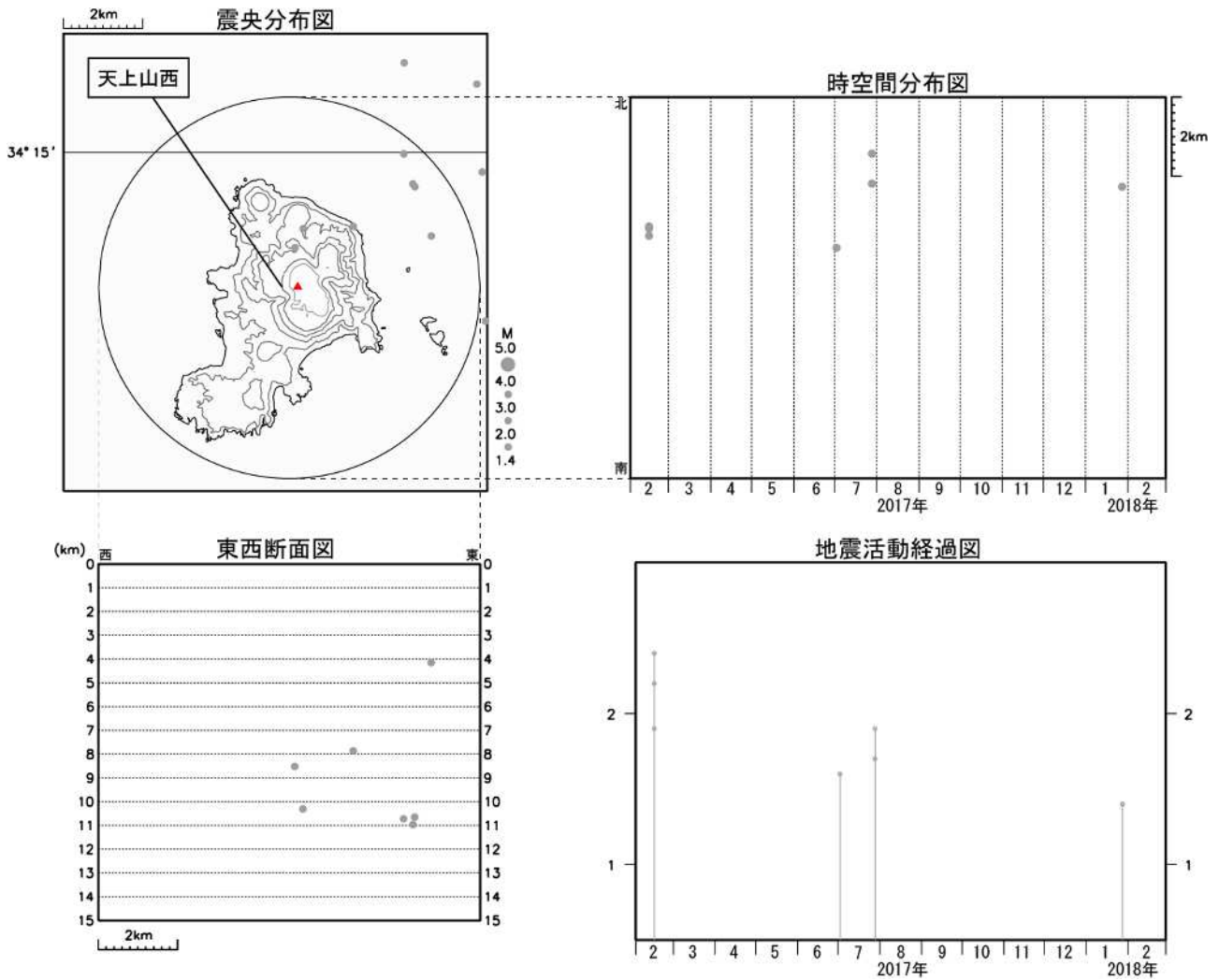
図3 神津島 火山活動経過図(2010年8月2日～2018年2月28日)

図の灰色部分は機器障害による欠測を示します。

～:(国): 国土地理院、～は図1のGNSS基線～に対応しています。

2014年9月19日に、神津島1を神津島1Aに移設しました。

2016年1月以降のデータについては、解析方法を変更しています。



: 2017年2月1日～2018年1月31日      : 2018年2月1日～2月28日

図4 神津島 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動(2017年2月1日～2018年2月28日)

広域地震観測網により震源決定したもので、深さは全て海面以下として決定しています。

M(マグニチュード)は地震の規模を表し、M1.4以上の地震を表示しています。

図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。

震央分布図中の円は火山性地震の回数の計数対象(天上山西から半径5km、深さ15km以内)の範囲を示しています。

- ・今期間、神津島の山体及びその周辺に震源が求まる地震はありませんでした。